

- 問1 北陸地方の農業的特徴に関する記述として、統計から読み取れる事実とその背景となる理由の組み合わせとして最も適切なものを選びなさい。
(2018年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 農業産額の約半分を野菜が占めており、雪解け水を利用した夏から秋にかけての出荷が中心である。 | 2. 農業産額の約半分を畜産が占めており、広大な土地を活用した大規模な乳牛の飼育が行われている。 | 3. 農業産額の約半分を果実が占めており、扇状地や水はけの良い土地を活かした栽培が行われている。 | 4. 農業産額の約半分を米が占めており、冬の積雪の影響で裏作が困難な地域が多く、単作地帯となった。 |
|--|--|--|---|
- 問2 長野県、岐阜県、富山県にまたがり、標高3000メートル級の険しい山々が連なる山脈について、通称「北アルプス」とも呼ばれる名称として正しいものはどれですか。
(2026年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 飛騨山脈 | 2. 木曽山脈 | 3. 日高山脈 | 4. 赤石山脈 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問3 日本の4つの道県の農業産出額の内訳を比較した統計において、ある県では「米」の占める割合が全体の半分以上に達し、野菜や畜産の割合が相対的に低いという特徴が見られます。この統計が示す都道府県として最も適切なものはどれですか。
(2019年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 鹿児島県 | 2. 北海道 | 3. 千葉県 | 4. 新潟県 |
|---------|--------|--------|--------|
- 問4 中部地方の地図上において、北側に位置する飛騨山脈、中央に位置する木曽山脈、そして南東側に位置する赤石山脈の3つを総称した呼び名として適切なものを選びなさい。
(2018年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 奥羽山脈 | 2. 中国山地 | 3. 四国山地 | 4. 日本アルプス |
|---------|---------|---------|-----------|
- 問5 中部地方の各県の工業出荷額の内訳をまとめた統計において、輸送用機械の割合が極めて高い愛知県や静岡県に対し、食料品、化学工業、電子部品・デバイス工業などがバランスよく含まれていることが特徴である県はどこですか。
(2024年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 長野県 | 2. 福井県 | 3. 石川県 | 4. 富山県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問6 本州の中央部、日本海側に位置する県の地理的特徴について述べた文として、正しいものはどれか。なお、この県は中部地方（北陸地方）に属し、石川県、京都府、滋賀県、岐阜県の4県と隣接しているものとする。
(2022年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 日本海に面しており、能登半島が北側に大きく突き出している石川県である。 | 2. 県域のすべてが内陸に位置しており、日本海には面していない滋賀県である。 | 3. 日本海に面しており、県南部にはリアス海岸が発達した若狭湾がある福井県である。 | 4. 日本海に面しているが、中部地方ではなく近畿地方に分類される京都府である。 |
|--|--|---|---|
- 問7 東海工業地域に属する静岡県では、自動車やオートバイなどの生産が非常に盛んです。県の製造品出荷額において、24パーセント以上の最も高い割合を占めている産業分類を選択肢から選びなさい。
(2026年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|---------------|---------|--------------|
| 1. 情報通信機械器具製造業 | 2. 輸送用機械器具製造業 | 3. 化学工業 | 4. 電気機械器具製造業 |
|----------------|---------------|---------|--------------|
- 問8 東京都中央卸売市場におけるレタスの月別取扱量の統計をみると、8月を中心とした夏季において、長野県産の取扱量が他県を圧倒して多くなっています。このように、標高が高い地域の涼しい気候を活かして、他の地域が栽培に適さない時期に野菜を出荷する農業形態を何といいますか。
(2019年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|---------|--------|
| 1. 高冷地農業 | 2. 近郊農業 | 3. 促成栽培 | 4. 二毛作 |
|----------|---------|---------|--------|
- 問9 長野県の諏訪盆地では、かつて盛んだった製糸業の伝統や、空気や水がきれいな自然環境を活かして、時計やカメラ、医療機器といった高度な加工技術が必要とする産業が発達しました。このような工業の種類を何といいますか。
(2026年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|-----------|-----------|
| 1. せんい工業 | 2. 重化学工業 | 3. 石油化学工業 | 4. 精密機械工業 |
|----------|----------|-----------|-----------|
- 問10 愛知県の田原市などで盛んに行われている、温室やビニールハウスなどの施設を利用し、光や温度を人工的に調節して野菜や花を栽培する農業の形態を何といいますか。
(2018年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 促成栽培 | 2. 施設園芸 | 3. 近郊農業 | 4. 抑制栽培 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問11 急峻な山々に挟まれ、木曽川が北東から南西へと流れる谷底のわずかな平地に、集落や鉄道、道路が密集している地域があります。江戸時代、この場所には「福島閑所」が置かれ、山岳地帯を通る主要な交通路の要所となっていました。この街道の名称として正しいものはどれですか。
(2018年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|---------|
| 1. 日光街道 | 2. 東海道 | 3. 中山道 | 4. 甲州街道 |
|---------|--------|--------|---------|
- 問12 静岡県の農業の特色について、茶とみかんの生産状況や地理的背景をふまえて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。
(2020年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 茶の生産量は全国一位であるが、みかんの生産は寒冷な北部山間部に集中しており、全国的なシェアは低い。 | 2. 日本一の茶の生産量を誇るほか、温暖な気候や傾斜地を活かしたみかんの生産でも全国的に高いシェアを占めている。 | 3. 明治時代に開拓された牧之原台地でみかんの栽培が始まり、現在は茶の生産を上回る主要な産品となっている。 | 4. 茶の生産量は全国上位であるが、みかんの生産に関しては四国地方や九州地方に次ぐ規模であり、全国シェアは一割に満たない。 |
|--|--|---|---|
- 問13 愛知県瀬戸市は、鎌倉時代から続く伝統的な工芸品の産地として知られています。この地域で生産される、良質な粘土を原料とした「瀬戸焼」などの工芸品を総称して何と呼びますか。
(2021年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| 1. 鉄器 | 2. 漆器 | 3. 陶磁器 | 4. 織物 |
|-------|-------|--------|-------|
- 問14 静岡県の牧之原などの台地では、明治維新によって職を失った士族（旧幕臣）や川越人足らによって大規模な土地の開墾が行われ、現在の日本を代表する農業景観が形成されました。この地域で行われている農業の背景と特徴について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。
(2022年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--------------------------------------|--------------------------------------|---|
| 1. 温暖な気候を利用して、ビニールハウスを用いたメロンの促成栽培が行われた。 | 2. 平坦な低地を活かして大規模な水田が整備され、稲作の機械化が進んだ。 | 3. 都市部への出荷を目的とした、キャベツなどの近郊農業が中心となった。 | 4. 水はけの良い台地の特性を活かし、輸出用や国内消費用の茶の生産が拡大した。 |
|---|--------------------------------------|--------------------------------------|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 農業産額の約半分以上を米が占めており、冬の積雪の影響で裏作が困難な地域が多く、単作地帯となった。	北陸地方は日本を代表する穀倉地帯であり、農業産額のうち米が占める割合が5割を超えています。このように米に特化した「単作地帯」となった背景には、冬の厳しい積雪によって、米を収穫した後の田で別の作物を育てる「裏作」が物理的に困難であったという自然環境が深く関わっています。
問2	答え 1 飛騨山脈	中部地方の中央部には標高の高い山脈がそびえており、そのうち最も北側に位置する飛騨山脈は「北アルプス」と称されます。これに木曽山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）を合わせた3つの山脈が、日本の屋根とも呼ばれる日本アルプスを構成しています。
問3	答え 4 新潟県	新潟県は日本を代表する「米どころ」であり、広大な越後平野を中心に大規模な稲作が行われています。全国的に野菜や畜産の産出額が伸びている中でも、新潟県は依然として農業産出額全体に占める米の割合が突出して高いという、水田単作地帯としての特色を持っています。
問4	答え 4 日本アルプス	飛騨・木曽・赤石の3つの山脈は、いずれも標高3000m級の非常に高い山々が連なっていることから、ヨーロッパのアルプス山脈にちなんで「日本アルプス」と呼ばれています。これらは日本の地形の骨格をなす重要な山脈であり、その高さから「日本の屋根」とも表現されます。
問5	答え 3 石川県	中部地方の中でも北陸地方に位置する石川県は、特定の産業に特化した中京工業地帯の県とは異なり、電子部品や機械、食料品などがバランスよく生産されているのが特徴です。また、伝統的工芸品から発展した機械工業や、良質な水を活用した食料品製造も盛んに行われています。
問6	答え 3 日本海に面しており、県南部にはリアス海岸が発達した若狭湾がある福井県である。	福井県は中部地方の中でも日本海側に位置する北陸地方の県です。西側で京都府、南側で滋賀県と隣接しており、嶺南地方と呼ばれる南部エリアには複雑な海岸線を持つ若狭湾が広がっています。石川県は福井県の北東側に位置し、滋賀県は海に面していない内陸県であるという点から判別が可能です。
問7	答え 2 輸送用機械器具製造業	静岡県は愛知県などととともに東海工業地域を形成しており、特に浜松市周辺などを中心に自動車や二輪車（オートバイ）の生産拠点が集まっています。製造品出荷額の統計資料においても、輸送用機械が全体の4分の1近くを占める最大の基幹産業となっており、これに電気機械や化学工業が続く構成が特徴です。
問8	答え 1 高冷地農業	長野県の八ヶ岳山麓や浅間山麓などは標高が高いため、夏でも涼しい気候が保たれます。この自然環境を利用して、平地では気温が高すぎて栽培が難しい夏季に、レタスやキャベツなどの高原野菜を栽培・出荷しています。市場での供給が減る時期に合わせることで、有利な価格で販売する工夫がなされています。
問9	答え 4 精密機械工業	諏訪盆地は、かつて製糸業が盛んな地域でしたが、戦時中に大都市から工場が疎開してきたことや、製品が小型・軽量で輸送費の負担が少ないこと、さらに高度な技術を持つ労働力が確保しやすかったことから、時計やカメラなどの製造が主力となりました。この地域は、その発展の様子から「東洋のスイス」とも呼ばれました。
問10	答え 2 施設園芸	温室やビニールハウスなどの設備を用いて、農作物の生育環境を管理する農業を施設園芸と呼びます。愛知県の渥美半島（田原市）などはこの代表的な地域であり、土地を高度に利用して付加価値の高い農産物を生産しています。大消費地に近い利点を活かした近郊農業の側面も持ち合わせています。
問11	答え 3 中山道	木曽路を通る中山道は、江戸と京都を結ぶ五街道の一つであり、山岳地帯を抜けるルートとして整備されました。木曽福島は、険しい地形によって道が限定されるため、交通の検問を行う関所を設置するのに最適な場所でした。この地域では、現代のJR中央本線や国道19号も木曽川沿いの谷底平野に沿って通っており、古くからの交通の要衝としての性格が引き継がれています。
問12	答え 2 日本一の茶の生産量を誇るほか、温暖な気候や傾斜地を活かしたみかんの生産でも全国的に高いシェアを占めている。	静岡県では、明治維新後の土族授産などによって開拓された牧之原台地が日本最大級の茶産地となりました。これに加えて、黒潮の影響を受ける温暖な海岸沿いの傾斜地が日当たりを好む果樹栽培に適しているため、みかんの生産においても全国屈指のシェアを誇っています。
問13	答え 3 陶磁器	瀬戸市は日本を代表する陶磁器の産地であり、東日本では陶磁器のことを「せともの」と呼ぶほど一般的に普及しています。この地域は良質な陶土（粘土）が豊富に採れたため、古くから窯業が発展しました。
問14	答え 4 水はけの良い台地の特性を活かし、輸出用や国内消費用の茶の生産が拡大した。	静岡県の茶の生産は、明治時代以降、輸出用の商品作物として大規模な台地の開墾が進められたことで発展しました。茶は水はけの良い土地を好むため、牧之原のような台地は栽培に適しています。また、東名高速道路などの交通網が整備されたことで、全国への出荷が容易になったことも生産を支える要因となりました。